熊本地域医療センターだより

当院ＨＰはこちらから

院長　杉田裕樹　　令和３年(2021年)　８月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311　FAX 096-362-0222

〒860-0811　熊本市中央区本荘5丁目16番10号　https://www.krmc2.org

2021 9月号　通算196号

熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

新型コロナにしこたまやられて、助けられて…… P1
退任挨拶…… P2
新任挨拶…… P3
新入職員挨拶…… P3
フォトサークルの活動について…… P4

新型コロナにしこたまやられて、助けられて

副院長 兼 臨床研究部長　柏原（かしわばら）　光介（こうすけ）

コロナ禍をいかがお過ごしでしょうか？

この原稿が出る８月末が、東京オリンピックを引き金とした新型コロナウイルス（以下、新コロ）流行の第５波のまっただ中でなければいいのですが・・・

副院長の私としては、コロナ禍における皆様のクリニックや病院の経営状態が非常に興味深いところでありますが、熊本地域医療センター（以下、当院）は、新コロにしこたまやられるも、また新コロに助けられた一年半でした（皮肉なものです）。

2020年４月に呼吸不全を伴う新コロ患者が当院の休日夜間急患センターに飛び込み受診し、院内感染の原因となりました。熊本初の院内感染は報道で大きく取り上げられ、保健所からも厳しくも有り難いご指導をいただき計４週間の外来・入院診療停止となった次第です。多くの患者さんから励ましの言葉をいただきましたが、苦情・転院を希望する電話、誹謗中傷も少なくはありませんでした。後の調査では、約30％の職員が院外でなにかしらの精神的ストレスを受けたと答えています。病床利用率も大きく低下し２ヶ月間で大きな赤字を抱えることになりました。

当院では、第１波の頃から新コロ入院患者を受け入れてきました。「危険な仕事は年寄りから」ということで柏原と藤井慎嗣医師が主治医となっていましたが、徐々に精神的肉体的負担が大きくなり2020年12月から津村真介医師や坂本一比古医師にも主治医として加わってもらいました。当院では昨年度148名、今年度63名（2021年６月現在）の新コロ患者を入院加療してきましたが、大きな問題なく経過しており病院職員一人一人の努力のおかげと考えています。特に新コロ病棟のスタッフの献身的な働きには頭が下がる思いです。

激減した一般外来および入院患者数もほぼ回復しましたが、当院の特徴のひとつである休日夜間急患センターの患者数は低迷しています。皆様も感じておられることでしょうが、インフルエンザを含む感染症患者が大きく減少しました。これは公衆衛生学的にはめでたいことではありますが、病院経営的にはかなり厳しい状況です。新コロ病棟の空床補償補助金のおかげで昨年も黒字経営となりましたが、補助金を必要としない経営状態にしなければなりません。これが、最初に書いた「新コロにしこたまやられるも、また新コロに助けられた一年半でした」の意味です。新コロ患者の受け入れをしていなければ大変なことになっていたでしょう（切腹ものでした）。

現在、熊本市内には「断らない救急外来」を展開

する大病院がいくつもあり、開業医の皆様から救急患者を受け入れる医師会病院としての役割は終わったとも言われます。病院建て替えを控えている当院としては黒字経営が必須であり、生き残っていくために当院にしかできない特徴を出していくことが必要です。

呼吸器科のセールポイントを述べて筆を置きたいと考えます。

●中枢型癌性気道狭窄に対する経気管支的マイクロウェーブ治療

マイクロウェーブは電子レンジと同じ原理であり、腫瘍内の水分子から発生する誘電熱（100℃）を利用して腫瘍を凝固する方法です。高濃度酸素を使用しても気道火傷の心配がなく、組織炭化を起こさないことから有毒煙を発生しない特徴があり、人工呼吸管理なしで鎮静下に施行できる緊急処置に適した手技です。今まで英語の論文は１本もありませんでしたが、今年、「呼吸不全のある中枢性癌性栄気道狭窄患者に対する鎮静下ｓ経気管支的マイクロウェーブ焼灼治療の有用性と安全性」を送り出すことができました。

Kashiwabara K, Fujii S, Tsumura S, Sakamoto K, Semba H. Efficacy and safety of transbronchial microwave ablation therapy under moderate sedation in malignant central airway obstruction patients with respiratory failure: a single-institution retrospective study. J Cancer Res Clin Oncol. 2021 Feb 24. doi: 10.1007/s00432-021-03560-3.

●重症気管支喘息に対する気管支サーモプラスティ治療

気管支サーモプラスティは、高周波電流により気管支壁を加熱することで肥厚した気道平滑筋を減少させ喘息発作を緩和させる方法です。治療対象は、気管支鏡手技が可能な、高用量の吸入ステロイド薬および長時間作用性β2刺激薬で喘息症状がコントロールできない18歳以上の重症喘息患者です。当院では11名の患者さんに気管支サーモプラスティ治療を施行し70%の患者さんに症状の改善が観察されています。詳細は当院津村真介医師にご相談ください。

大きな病院に紹介するのはなんとなく気が引けるような高齢の患者さんでも構いません。会員の先生方からのご紹介を心からお待ち申し上げております。

退任挨拶

リハビリテーション室　和田（わだ）　博暁（ひろあき）

平素より医師会の先生方には御指導御鞭撻して頂き大変お世話になっております。平成25年に入職してあっという間に８年過ぎましたが本年７月末で退職となりました。

地域医療センターでは、リハビリテーション部門の開設に携わることができ大変貴重な経験をさせて頂きました。医師会の先生方、各診療部の先生、看護部の皆様、患者支援室、総務課、医事課、施設課、栄養科、検査部門など全ての関係各部署の御協力があり部門として発展することが出来ました。在籍中は業務の運用やシステムの構築、現場でのリハビリ業務、物品関係等で御迷惑をおかけしたことも多々ありますが臨機応変に対応して頂き、心より感謝申し上げます。

８年の間で理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）の在籍人数も増え、現在は10名程の規模となりました。関係各位の皆様の御指導もありリハスタッフ１人１人は確実に成長しており、今思えば私自身もリハスタッフには大きく支えられていたと思います。今後の活躍を見守ることが出来ないのは残念ですが日々成長している姿をみていると安心して病院を離れることができます。しかし、まだまだ発展途上な部門ではありますので今後も皆さまの御指導御鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

今後は株式会社に入社して医療・介護分野の事業を学びます。地域医療センターで経験した財産を次は社会に向けて貢献出来るよう頑張って参ります。

最後に私事ですが、妻（看護師）と夫婦で地域医療センターという素晴らしい病院で働くことができ本当に感謝しかありません。コロナの終息と地域医療センターの益々の御発展を願い退職の挨拶とさせて頂きます。

新任挨拶

リハビリテーション室　川上（かわかみ）　博子（ひろこ）

令和３年７月１日から勤務させて頂く事になりました、理学療法士の川上博子と申します。

以前は鹿児島の米盛病院に勤めており、急性期病棟を中心にリハビリとして携わっておりました。丸３年間勤務し、ICU や HCU でのリハビリや運動器リハビリなども行っておりました。当院では内部疾患を中心に、悩みや不安を抱えた患者様が多く入院されています。地域に貢献できる、よりよいリハビリテーションを提供できるよう精進していきたく思っております。

個人的な話では、出身は山鹿で、山や田んぼに囲まれて育ったのですが、魚釣りが大好きです。よく天草の樋島などに釣りに行っていました。魚釣りがお好きな方は、お話できれば嬉しいです。とくにイカ釣り（エギング）が好きです。即戦力として、働けるよう努めて参りますので、リハビリテーションのスタッフの皆様をはじめ、院内、院外の先生方、多職種の方々の皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しく御願い致します。

新入職員挨拶

事務部　総務課　経理係　狩野（かのう）　友太（ゆうた）

はじめまして、４月より総務課 経理係に配属となりました、狩野友太と申します。入職当初は慣れないことや分からないことばかりで、緊張したり不安になることもありましたが、先輩方に助けていただいているおかげで、環境の変化にも慣れ、以前よりも気持ちに余裕を持って仕事に取り組むことができるようになりました。最近では、少しずつですが仕事にも慣れてきて、休日には趣味に時間を使うなど余裕も出てきました。入職からまだ４ヶ月しか経っておらず、これから多くの事を覚えなければいけませんが、仕事の正確さや速さも身に付ける必要があります。そのためには今はあせらずに学んだ事を確実に自分のものにしていくことを心掛けていきたいと思います。至らない点も多々あり、ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、どうかご指導のほどよろしくお願い致します。

事務部　施設課　施設管理係　清田（きよた）　逸斗（はやと）

はじめまして、令和３年４月より事務部 施設課に配属になりました清田逸斗と申します。入職当初は環境の変化や慣れない業務に戸惑うばかりでとても不安でした。しかし今では、先輩方をはじめ職員の皆様に支えて頂きながら業務にあたっております。出身大学は熊本学園大学で商学部商学科に所属しておりました。プライベートな話になりますが休日は釣りやサウナでリフレッシュしています。特にシーバスやタイラバにはまっております。地元は温泉とラーメンが有名な熊本県玉名市です。同郷の方がいらっしゃいましたら、ぜひ気軽に声を掛けてください。

社会人一年目で不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、目の前の仕事ひとつひとつ真剣に取り組み、日々学び業務に精進したいと考えております。また施設管理として皆様を支えられるよう精一杯頑張りますので、なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

フォトサークルの活動について

フォトサークル　星子（ほしこ）　直貴（なおき）

フォトサークルの活動が始まって早いもので３年が経ちました。現在は11名の加入者で活動しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり毎月の定例会は開催できませんでした。せめて患者様や職員の癒しとなればと、院内の写真掲示だけは継続しました。今後もコロナ禍が続き、心身ともに苦しい期間が続くかもしれませんが、皆様に写真で貢献していければと考えております。

私自身もコロナ禍で外出も少なくなり、写真を撮る機会が減ってしまいました。そんな中、令和２年７月豪雨の影響により肥薩線不通となり、熊本～鳥栖間をSL人吉が走っていると聞き、電車好きの３歳になる息子と一緒に出掛けました。すくすく成長する息子達と一緒に、コロナを気にせず外出できる日が早く来ることを願っています。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2021年9月27日(月) 19：00～20：00
形式／ハイブリット方式　オンライン参加 or 会場参加
オンライン参加：ZOOM　　会場参加：２階多目的ルーム

申し込み方法（オンライン参加の場合）／ kumamotochiiki@gmail.com
までメールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。（後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。）

※会場参加を希望される方は、事前に申し込みください。人数制限によりご案内できない場合がございます。
※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

①症例報告
『ペメトレキセドによる強皮症様皮膚硬化の1例』
皮膚科　市原 麻子 医師

②特別講義
『肝切除術における技術の進歩と安全性の向上』
CC7：医療の質と安全
外科　増田 稔郎 医師

熊本地域医療センター
■医師へ直接紹介される方はこちら
☎096-363-3311（代表）
■何科に紹介するか迷っている場合はこちら
※ベテラン看護師が対応いたします！
（平日9:00~17:00）☎096-372-0600
■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら（連携室）
☎096-366-1323

編集後記

Y　賛否はあったものの東京オリンピック2020の放送では、正直感動を覚えました。その影響があるのかないのか感染者数が急増している新型コロナは、ワクチン接種後でも一度罹患していても感染します。そろそろ「マスク会食」なる技術を習得しようかなと覚悟をし始めています。

K　新型コロナの感染拡大に伴い、我が家では、某事務所のアイドルグループのライブに行けず、イライラする娘達。母娘ゲンカも水掛け論。お願いだから、今はガマン！ママは、あんた達より、もっとライブに行きたいのを、ぐっと押しこらえているんだよ（涙涙）

H　９月号では、事務部の新人くんたちの挨拶を掲載させていただきました。配属は違いますが、同じ事務部の先輩として、ちゃんとお手本となるよう心掛けていきます。ちなみに僕が新人の時はRさんをお手本としていました。もちろん今でも目指すべき方です。